

令和6年度
徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

日時: 令和7年3月5日(水)
午前10時00分から正午まで
場所: 徳島グランヴィリオホテル 2階
「蓬莱」

1 開 会

2 あいさつ

3 議事内容

- 1) ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全推進事業の概要について
- 2) 令和6年度の事業経過について
- 3) 令和7年度の事業計画について
- 4) 意見交換
- 5) その他

4 閉 会

農林水産部 農山漁村振興課

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会について

開催目的

中山間地域、棚田地域における農地保全や農業・農村の活性化を目的に実施している「ふるさと・水と土保全事業」について、評価や助言をいただき、事業のさらなる拡充、推進を図る。

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

評価

意見

評価

意見

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (ふる水基金)

【事業目的】

- 中山間地域における土地改良施設及びこれと一体的に保全する事が必要な農地の有する多面的機能を維持
- 住民活動による土地改良施設等の保全・利活用により中山間地域を活性化

【事業対象地域】

- 過疎地域持続的発展特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律において、指定及び規定された地域
 ※対象市町村：県内16市町村
 鳴門市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、佐那河内村、神山町、勝浦町、上勝町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、つるぎ町、東みよし町

●調査研究事業

地域住民活動を通じた、土地改良施設や農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査

●研修事業

住民活動のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の

●推進事業

事業を進めるのに必要な啓発普及活動、広報資料の作成、

中山間ふるさと・水と土保全推進事業 (棚田基金)

【事業目的】

- 棚田などの多面的機能の良好な保全と都市住民も交えた継続的な地域住民活動の推進
- 保全活動を行う集落組織等の育成・支援

【事業対象地域】

自然傾斜を緩和した農地が階段状に分布しており、勾配1/20以上の農地の面積が当該地域の全農地の面積の1/2以上を占める地域

※県内棚田箇所数：75カ所

【事業内容】

●保全ネットワーク推進事業

都市住民等の保全活動への参加促進を図るための事業

●保全活動推進事業

住民組織が行う保全活動の推進を図るために実施する事業

●保全活動支援事業

集落協定に基づいて実施される棚田などの保全活動や利活用に対して経費等の助成を行う。

効果

<ふる水基金>

- 地域リーダーを中心とした「個性ある地域づくり」に取り組む体制の整備
- 農業生産等の協働活動を通じて、中山間地域の多面的機能を維持
- 新たなコミュニティ活動の展開による地域の活性化

<棚田基金>

- 地域住民活動の活性化により、都市住民等を巻き込んだ活動参加ネットワークの構築
- 地域住民活動を推進する人材育成による活動の活性化
- 施設や農地の保全・利活用活動等への継続した支援実施による多面的機能の発揮

1 ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全
推進事業の概要について

中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）について

1) 対策の目的

中山間地域の多くの集落では過疎化や高齢化が進み、後継者不足や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの低下など様々な課題に直面しており、農業生産と併せて国土保全や自然・文化の伝承など、農山村が持つ多面的機能は低下の一途をたどっています。

ふるさと・水と土保全対策では中山間地域を中心として、農地や土地改良施設等の利活用や地域コミュニティ活動の活性化を図るため、地域における活性化を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の促進を目的として、平成5年度に創設されました。

2) 対策の概要

本対策は、「中山間ふるさと・水と土保全対策事業（徳島県基金）」と市町村単独事業（市町村基金）によって、地域住民による組織づくりや保全活動等を推進しています。

3) 徳島県での基金の状況

中山間ふるさと水と土保全対策事業

672,000千円 国費1/3 県費2/3

平成5年度から平成9年度にかけて造成

中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）について

1) 対策の目的

棚田が耕作放棄され多面的機能が発揮されなくなることによって、鳥獣害や土砂災害、洪水など周辺地域や下流地域に悪影響を与えることが懸念されています。

このため、棚田地域などを対象として、平成10年度から農地などの保全や利活用を行う地域住民活動に対し「中山間ふるさと・水と土保全推進事業」によって支援を実施しています。

2) 対策の概要

本対策では、都市住民との交流や景観形成にも役立てながら保全活動を推進するとともに、保全活動に必要な組織づくり、人材育成等も支援しています。

3) 徳島県での基金の状況

○棚田基金 中山間ふるさと水と土保全推進事業

630,000千円 国費1/3 県費2/3

平成10年度から平成12年度にかけて造成

2 令和6年度の事業経過について

令和6年度事業経過

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	実績額(見込み)
(1)調査研究 事業費			(円) 3,000,000
	ア 中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な基礎調査を行う。	3,000,000
(2)研修事業			470,000
	ア ふるさと水と土指導員 全国研修派遣	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣し、指導員を育成する。	170,000
	イ ふるさと水と土指導員県内研修	県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を実施し指導員を育成する。	300,000
(3)推進事業			19,462,000
	ア ふるさと水と土保全対策懇話会	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。	137,000
	イ 農林漁業体験推進事業	中山間地域の価値を地域住民自ら再認識し、地域資源として活用することで、都市部住民との交流・普及啓発につなげる。	773,000
	ウ 鳥獣被害予防推進事業	鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援する。	2,712,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村 （ふるさと）元気づくり事業	地域リーダーの育成、住民によるビジョンの策定からその実現までの支援、協働活動における関係人口の拡大、各団体間の情報共有の場の創出と情報発信を行うことにより、地域が持つ「魅力」や「価値」のさらなる向上を図る。	5,500,000
	エ (うち) 徳島県ふるさと水と土 指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が棚田地域等において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を推進し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	(700,000)
	オ (うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	中山間地域において「ビジョン」の策定から早期実現を「パッケージ」として支援し、地域の魅力向上や住民の課題解決力の向上を図る。	(3,400,000)
	カ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	地域に社会貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山漁村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	(400,000)
	キ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立し、各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や活動状況を発信する。	(1,000,000)
	ク とくしま「デジ活」農山漁村づくり 推進事業	「とくしま『デジ活』農山漁村づくり整備計画」策定支援事業の推進のため、中山間地域の農業者団体と企業の連携によるアイデアを募集、選定し、お試しモデルを設置し、効果検証や地域への普及・啓発を図る。	10,000,000
ケ 啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、保全対策の必要性をPRする。	340,000	
合計			22,932,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
(1)保全ネット ワーク推進 事業			(円) 4,707,000
	棚田地域等保全対策事業費	棚田地域への理解促進を図る。	477,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	4,230,000
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	上記と同様。	(4,000,000)
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	上記と同様。	(230,000)
(2)保全活動 推進事業			10,011,000
	鳥獣被害予防推進事業	上記と同様。	2,711,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	2,300,000
	(うち) ふるさと水と土指導員活動 支援事業	上記と同様。	(700,000)
	(うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	上記と同様。	(1,600,000)
	とくしま「デジ活」農山漁村づくり推進 事業	上記と同様。	5,000,000
合計			14,718,000

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

(1) 調査研究事業

A 中山間むらづくり調査事業

本県の中山間地域は、本県の農業の重要な地位を占めている。しかしながら、耕作者の高齢化や後継者不足により、農業生産基盤の整備が実施されていない地域では、農作業効率が悪く離農による耕作放棄地の増加が懸念されている。中山間地域の優良農地を保全し継承するためにも、効率的な営農を可能とする農業生産基盤整備が急務である。

また、中山間地域では、農地・里山・水路等の多様な自然が存在し、身近な動植物、田園空間が残されている。これらの豊かな環境を次世代に継承するためにも、環境との調和に配慮した農業農村整備が求められている。このことから、田園環境の保全に資するため必要な環境調査を行った。



環境調査(夏季植物調査)



環境調査(秋季植物調査)



環境調査(魚介類調査)

◆調査結果及び今後の取組

	調査名	調査結果	今後の取組方針
	地区名		
環境調査	川田耕地整理 (吉野川市)	地区内の環境調査(夏季・秋季植物調査、夏季魚介類調査)を行い、環境に配慮した工法検討を行った。	本調査で得られた知見を事業実施段階において、適切に実践することで、環境に配慮した土地改良事業の展開に努める。

◆次年度の調査計画

	調査名	調査内容
	地区名	
環境調査	川田耕地整理 (吉野川市)	農業生産条件に不利のある中山間地域において、生産基盤整備を行い、中山間地域の活性化や農業振興を目的とした事業計画策定に必要な環境調査(春季)を実施する。

(2) 研修事業

A ふるさと水と土指導員全国研修会派遣

例年、ふるさと水と土指導員(市町村長の推薦に基づき、農村地域の活性化に理解と熱意を有し、地域の人望のある者を指導員に任命)として任命予定者を、ふるさと水と土基金全国研修に派遣している。

令和6年11月27日~28日東京都の会場及びオンライン上で研修会が実施された。

ふるさと水と土指導員及び任命予定者4名(会場2名、Web2名)が受講した。



イ ふるさと水と土指導員県内研修会・任命式

日時：令和7年3月5日（水）
 場所：徳島市 徳島グランヴィリオホテル
 目的：本年度のふるさと水と土指導員の活動報告と指導員同士の交流を図ることで、さらなる地域活性化活動の展開を目指すことを目的とする。

内容
 (1) 指導員活動事例発表
 (2) 意見交換
 (3) 任命式
 (指導員に7名を任命)
 など



研修会



任命式

(3) 推進事業

ア ふるさと水と土保全対策懇話会

毎年1回開催し、保全対策の内容を評価し、広く県民に周知する。

日時：令和6年3月5日（水）
 場所：徳島市 徳島グランヴィリオホテル



ふるさと水と土保全懇話会

イ 農林漁業体験推進事業

四国グリーン・ツーリズム推進協議会において、キャンペーン実施による農林漁業体験施設等のPRや四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会を実施した。

また、SNS等を活用した定期的な情報発信を行った。

【取組内容】

- ①4県連携キャンペーン「思いっきり四国！88癒やしの旅。」
 期間：令和6年8月1日～令和7年1月13日
 内容：施設利用者が体験内容をInstagramに投稿するか、アンケートに答えて応募し、88名に特産品をプレゼント
 応募者数：398人
 主な来県者：大阪府、東京都、高知県、愛媛県、香川県など

- ②「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」の実施
 日時：令和6年11月12日
 場所：旧上西小学校体育館（香川県）
 内容：地域体験コンテンツの発信情報、歴史のコンテンツ化や、先進地取組等について学ぶ研修を行うことで、四国4県のグリーン・ツーリズム実践者のスキルアップを図る。

- ③SNS等を活用した定期的な情報発信
 内容：各県のグリーン・ツーリズム推進協議会HPから施設を選定し、投稿を行う。併せて、各県担当による投稿も行う。
 投稿数：70回程度

【今後の取組】

- ・思いっきり四国！88癒やしの旅。キャンペーン
- ・グリーン・ツーリズム実践者交流研修会



「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」



「思いっきり四国！88癒やしの旅。」キャンペーン参加施設

農林漁家民宿の登録状況（累計）

年度	登録実績（累計）
平成20年度	4戸（4戸）
平成21年度	2戸（6戸）
平成22年度	2戸（8戸）
平成23年度	7戸（15戸）
平成24年度	2戸（17戸）
平成25年度	13戸（30戸）
平成26年度	3戸（33戸）
平成27年度	4戸（37戸）
平成28年度	5戸（42戸）
平成29年度	9戸（51戸）
平成30年度	11戸（62戸）
令和元年度	4戸（66戸）
令和2年度	1戸（67戸）
令和3年度	1戸（68戸）
令和4年度	3戸（71戸）
令和5年度	2戸（73戸）
令和6年度	1戸（74戸）



県内農林漁家民宿

ウ 鳥獣被害予防推進事業

鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援するとともに、ニホンザル被害対策の講演会を開催する等、中山間地域の鳥獣被害対策の推進を図った。

【取組内容】

- ①被害ゼロ集落の育成 1市町 1地区
本事業で実施した主な地区
・東みよし町（加茂山地区）
シカ等に対する食害防止資材による展示圃設置
- ②モンキードッグの導入支援
これまでの実績（県内累計36頭導入うち6頭死亡）
H24年度1頭 H25年度6頭 H26年度5頭
H27年度5頭 H28年度6頭 H29年度3頭
H30年度2頭 R1年度3頭 R2年度1頭
R3年度2頭 R4年度0頭 R5年度2頭
R6年度0頭
- ③ニホンザル被害対策セミナーの開催

日時 令和6年10月21日（月）
場所 徳島グランヴィリオホテル
参加者 35名

【令和7年度の取り組み】
・「鳥獣被害ゼロ集落」のモデル育成
・モンキードッグの導入支援



シカ等被害対策研修会
（被害ゼロ集落の育成）



犬の訓練
（モンキードッグの導入支援）

野生鳥獣による農作物被害の推移

年度	被害状況（面積：金額）	
平成21年度	78.2ha	102,351千円
平成22年度	102.4ha	155,905千円
平成23年度	78.4ha	128,733千円
平成24年度	84.3ha	131,880千円
平成25年度	70.6ha	119,112千円
平成26年度	71.0ha	113,451千円
平成27年度	75.6ha	122,663千円
平成28年度	64.6ha	112,598千円
平成29年度	62.9ha	111,484千円
平成30年度	46.7ha	103,206千円
令和元年度	51.2ha	94,446千円
令和2年度	56.7ha	91,024千円
令和3年度	32.0ha	91,055千円
令和4年度	32.1ha	86,593千円
令和5年度	22.7ha	77,639千円

エ ふるさと水と土指導員活動支援事業

(未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

ふるさと水と土指導員が、土地改良施設や農地の保全活動・農村地域の活性化を図るための交流行事等を実施した場合、その要した経費について補助金として交付した。

①ふるさと水と土指導員活動支援事業(上限10万円)

指導員が中心となって実施する活動

②ふるさと水と土指導員育成支援事業(上限10万円)

新たな指導員候補者の育成のために、指導員候補者を同行させて実施する活動

③ふるさと水と土指導員連携支援事業(活動費加算上限5万円)

複数の指導員同士が連携して実施する活動

申請数 18件(①18件、②2件、③4件)

事業実施期間 令和6年5月1日から令和6年3月末

市町村名	地区名	事業内容
吉野川市	美郷	①花で町を活性化するため、地域の方と協力し花を植え地域の活性化を図る。また、地元ボランティアとともに梅園の手入れを行い、地域内外の交流を深める。さらに、子どもたちに自然の川の体験をしてもらい、自然の大切さを伝える活動を行う。
	美郷	①美郷でのイベントに加え、菜の花、れんげの花、アーモンドの花、ひまわりの花により、荒廃農地を回避し、景観美化を図る活動を行う。
	美郷	①棚田米を使った飯ごう炊飯体験を通じ、棚田と中山間地域の魅力を発信する。 ②指導員候補者とともに、移住を検討している新規就農候補者等々をに向けての耕作放棄地等を巡るサイクリングツアーの実地調査や安全確認を行う。
三好市	馬路	①放棄棚田で、地域住民とともに地域の植物や微生物を利用し、資料の開発や病害虫の駆除方法について研究する。また、野菜や穀物の有機栽培に取り組むことにより、持続可能な地域づくりを推進する。
勝浦町	坂本	①指導員の活動をまとめた広報誌の発行し、住民の理解や地域の協力体制の強化を図る。また、水車を活用したワークショップを実施し、環境教育への活用を図る。 ③他の指導員と連携し、地域資源の見直しによる里山の価値を高めることを目的とし、アースオープンを作るワークショップを実施する。
	棚野	①遊休農地において、ひまわりやコスモスの播種を行い、花畑を作ることにより、多くの方に見に来ていただける取組をおこなうことにより、遊休農地の効果的な活用を図る。
	坂本	①耕作放棄地を活用した「大人と子どもの農の学び場」作りを行い、景観保全や学びの場として耕作放棄地に新たな価値観を生み出す。 ③他の指導員と連携し、地域資源の見直しによる里山の価値を高めることを目的とし、アースオープンを作るワークショップを実施する。
上勝町	旭	①重要文化的景観に選ばれた檜原の棚田等への訪問者に対し、棚田や地域の特産品の魅力発信を行い、棚田集落の活性化を目指す。
神山町	神領	①環境保全活動や、地元と都会の子供や大人がともに楽しむ田舎遊び体験を通じ、集落の農地や景観や、文化を次世代に継承する。
那賀町	横石	①集落に存在する耕作放棄地について、地域住民と共同で草刈り農地の保全活動を行い、地域の景観を守るなど、地域の活性化に繋がる取組を実施する。
	延野	①農業推進や地域の魅力発信、多世代交流など様々な面から地域の活性化に取り組むため、花畑を作る。 ②指導員候補者とともに、子供や高齢者、農業後継者などとともに、花の種や苗を植え、地域の活性化に取り組む。
	平野	①花卉や柑橘等の地域特産物の振興を図るワークショップや休耕地活用体験企画を行い、都市と農村との交流や学び・気づきの機会を創出する。 ③子どもたちと休耕地活用の体験学習に取り組むことで、里山の魅力を伝える。
	平野	①耕作放棄地において、子どもたちと地域特産の農作物を栽培・収穫することにより、農地保全や自然環境学習につなげる。 ③子どもたちと休耕地活用の体験学習に取り組むことで、里山の魅力を伝える。

	平谷	①都市住民との協働による、晩茶摘み体験活動や間伐枝打ち体験活動を通じ、地域の活性化を目指す。
美波町	木岐	①休耕田に、交流・ふれあいの場の創設として景観植物を植栽し、地域の景観保全と活性化に取り組む。また、全国シンポジウムへの参加や他県への視察により、地域活動推進のための参考とする。
牟岐町	灘	①休耕田を活用し、レンゲやコスモスを植え、地域の憩いの場とする。
	灘	①農業の多面的機能や地域の貴重な植物保全活動を知ってもらうために、地域の方とともに周辺植物の観察会や草刈りを行う。
つるぎ町	一宇	①地域住民が中心となり、地区内の道沿いにある耕作放棄地を解消するとともに、桜やつつじ、バナミズキ等を植えて地域の景観の活性化につなげる。



棚田や地域の特産品の魅力発信
(上勝町)



農地保全のための観察会(牟岐町)



集落での農地保全活動の打合せ
(那賀町)



休耕田の草刈り(那賀町)



花による景観美化(牟岐町)



地元農作物を使ったハロウィンアレンジ
メント(那賀町)



花による景観美化(勝浦町)

**オ あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業
（未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業）**

農山漁村地域の魅力向上や住民主体の課題解決力の向上を目的とした「魅力向上・地方創生のモデル」づくりを行うため、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から早期実現までを「パッケージ」として支援する。

【取り組み内容】

○農山漁村の活性化に取り組もうとする地域へ、外部講師等の専門員を派遣し、住民主体の「ワークショップ」（体験型講座）を開催し、住民の実行計画である「魅力創生ビジョン」を作成した。

つぎ町家賀地区 令和6年6月15日～令和6年9月21日
美馬市郡里地区 令和6年9月11日～令和6年12月11日

○作成した「魅力創生ビジョン」の早期実現を図るため、地域住民による自主運営の組織づくりを進めるとともに、農用地保全や地域資源活用、生活支援の取組を促進した。

阿南市椿地区、阿南市加茂谷地区、美波町赤松地区、阿波市大影地区



ワークショップ風景

項目	実施時期	実施場所	実施者	実施内容	実施状況	備考
1	令和6年6月15日～9月21日	つぎ町家賀地区	外部講師等	魅力創生ワークショップ	完了	
2	令和6年9月11日～12月11日	美馬市郡里地区	外部講師等	魅力創生ワークショップ	完了	
3	令和6年6月15日～9月21日	つぎ町家賀地区	住民主体	魅力創生ビジョン作成	完了	
4	令和6年9月11日～12月11日	美馬市郡里地区	住民主体	魅力創生ビジョン作成	完了	
5	令和6年6月15日～9月21日	つぎ町家賀地区	住民主体	魅力創生ビジョン実行計画	完了	
6	令和6年9月11日～12月11日	美馬市郡里地区	住民主体	魅力創生ビジョン実行計画	完了	

魅力創生ビジョン作成

【棚田の保全・活用の取組支援】

県内の棚田地域について、棚田の保全・活用の取組を公募し、支援を行った。

- 「棚田保全活用タイプ」評価委員会
日 時：令和6年6月20日（木）
場 所：県庁6階601会議室

棚田名	実施事業名
①吉野川市美郷「高開の石積み」	地域と人をつなぐ～にほんの里100選高開の石積み保全と活用～
②上勝町「八重地の棚田」	にほんの里100選「八重地の棚田」における茅葺き民家を拠点とした棚田保全活用事業
③上勝町「椋原の棚田」	棚田健康ダンスとヤッホーによる棚田地域の活性化
④上勝町「椋原の棚田」	子ども食堂との食育体験&棚田キャンプ実施による棚田地域の活性化
⑤上勝町「八重地・市宇・田野々・椋原の棚田」	棚田ゲートウェイ(情報発信基地)による棚田地域の活性化



①高開石積みの修復作業



②田んぼ応援隊による田植え



③棚田青空ヤッホー体験



④子ども食堂食育体験



⑤棚田ゲートウェイ(情報発信基地)の取組

力 とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業 （未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業）

社会貢献に積極的な「企業・大学・NPO法人等」協働パートナーの協力を得て、農作業や地域コミュニティ活動など、農山漁村地域の保全・活性化を図った。現在、「協働パートナー」として92団体（令和7年2月末時点）が登録している。

＜新規協働パートナー団体＞（令和7年2月末時点）
H22: 8団体 H23:10団体 H24:11団体 H25:10団体
H26: 7団体 H27: 6団体 H28:4団体 H29:7団体
H30: 5団体 R1 : 3団体 R2:3団体 R3:4団体
R4:3団体 R5:4団体 R6:7団体
※登録 92団体（うち7団体现在未継続）

【R6年度活動実績】（令和7年2月末時点）

- 活動日数 27日間
- 活動した農山漁村 16地域
- 主な活動内容
 - ・地域の環境保全活動
 - ・地域イベント支援
 - ・ハッサクの収穫 など

【とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊交流会】

日 時：令和7年3月13日（木）（予定）
場 所：徳島市内
内 容：（1）ふるさと団体の取組紹介
（2）個別交流 など

【とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業 協働活動調整等業務】

入札により委託業者を選定し、協働活動実施に係る調整業務を委託するとともに、協働活動をより魅力的なものへ磨き上げることで、地域のファンになり、協働活動に積極的に参加する仕組みづくりに取り組んだ。

- ・委託業者 株式会社徳島新聞ネクスト
- ・業務内容 協働活動の調整、協働活動当日の進行、報告書作成、ボランティア保険加入手続き など

【とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊地域活性化 マッチング事業】

企画提案をにより委託業者を選定し、農山漁村地域の保全・活性化を目的とし「協働パートナー（企業・大学等）」が、課題を抱える「ふるさと団体」へ、地震が有するアイデア・ノウハウを活用し、企画・提案する新たな協働活動を支援することで、農山漁村地域が抱える課題を解決するとともに、地域活性化マッチングモデルとして、「とくしま農山漁（ふるさと）応援し隊」の協働活動の発展または他地域へ波及させることで地域活性化につなげる。

- ・委託業者 株式会社イルローザ
- ・業務内容 「上勝阿波番茶」を使った新商品のお菓子を開発し、ふるさと団体「上勝阿波番茶協会」とともに、県内外の方を対象に、阿波番茶の魅力を発信する。



八朔収穫作業
（美馬市穴吹町）



茶摘み応援
（那賀町）



草刈り・清掃活動
（牟岐町）



ほたるの環境保全活動（吉野川市美郷）



坂道マラソン応援
（勝浦町）



ちょうさ担ぎ手
（美波町）

キ とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

①とくしま棚田ネットワーク

県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立。各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や棚田ネットワーク構成団体の活動情報を一元的に情報発信している。

総 会：令和6年5月30日(木) 徳島市内
事業報告、事業計画、講演、発表、意見交換等

会 員：県、関係市町村、中国四国農政局徳島県拠点、
徳島県土地改良事業団体連合会、
徳島県農業会議、棚田保全に係る団体、NPO法人、
徳島県ふるさと水と土指導員、学識経験者

②とくしまの農山漁村ホームページ

農山漁村地域への支援事業や、とくしま棚田ネットワーク構成団体の活動内容を情報発信している。

本年度は、記事情報の充実を図るとともに、より見やすく、利便性の高いホームページとするよう取り組んだ。

(とくしまの農山漁村HP：<https://www.tokushima-nousangyoson.net/>)

③徳島発!輝くむらのたから展開事業

県内各地の特徴ある豊かな「農林水産業」や、それにまつわる伝統的な「食」、「景観」、「伝統行事」などの「むらのたから」を活用した農山漁村の体験交流や観光の促進に取り組む地域をH30、R1年度にかけて9地域認定した。

【認定地域】

- ・内野地域(東みよし町)
- ・善入寺島地域(吉野川市)
- ・上勝地域(上勝町)
- ・有瀬地域(三好市西祖谷山村)
- ・和田島地域(小松島市)
- ・湊名地域(美馬市穴吹町)
- ・美郷地域(吉野川市)
- ・木頭地域(那賀町)
- ・上板地域(上板町)

R2年度までに9地域のVRプロモーション映像を作成しており、Youtubeにて公開中。R6年度は、「とくしま農山漁村応援し隊事業」で応援したイベント会場でVR体験やパンフレット配布を行った。



徳島の棚田ネットワーク総会



有瀬地域



上板地域



和田島地域

ク とくしま「デジ活」農山漁村づくり推進事業

人口減少・高齢化が進む中山間地域において、ICT（情報通信技術）を活用して、農山漁村イノベーションの推進や社会課題の解決を図る地域「とくしま『デジ活』農山漁村（むら）」の創出を加速させるため、そのけん引役となるモデル地区を選定し、特定テーマに基づく地域課題解決手法を検証するとともに、その結果を普及啓発する。

【取り組み内容】

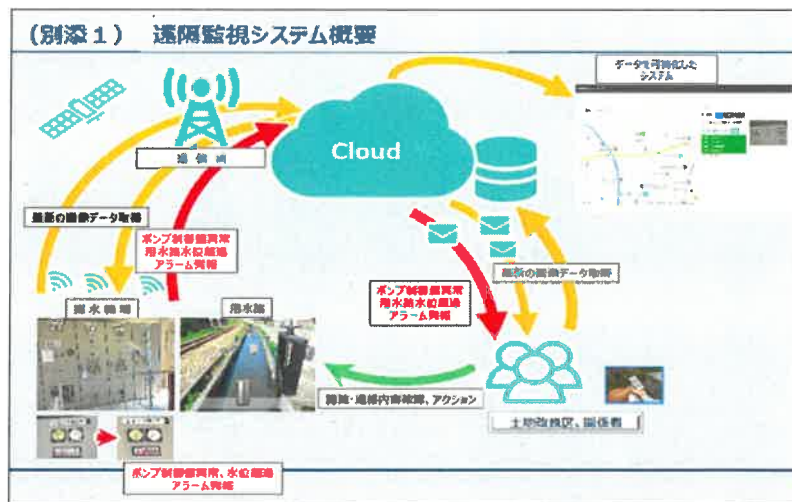
○契約の概要

「とくしま『デジ活』農山漁村（むら）お試しモデル設置業務

契約相手方 にし阿波美馬地域「デジ活」共同体
契約期間 令和6年10月4日～令和7年3月24日

○特定テーマ

低コスト無線通信技術を活用した複数市町村の中山間地域における農業水利施設の遠隔監視または遠隔操作の導入による水管理の省力化・高度化



2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(1) 保全ネットワーク推進事業

棚田地域等保全対策事業

棚田地域への理解促進を図る。

とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)の力、キのとおり。

(2) 保全活動推進事業

鳥獣被害予防推進事業

1の(3)のウのとおり。

ふるさと水と土指導員活動支援事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)のエ、オのとおり。

とくしま「テジ活」農山漁村づくり推進事業

1の(3)のクのとおり。

3 令和7年度の事業計画について

令和7年度計画（案）

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)調査研究 事業費		(円) 3,000,000
	中山間むらづくり調査事業	3,000,000
(2)研修事業		770,000
	ふるさと水と土指導員全国研修派遣	335,000
	ふるさと水と土指導員県内研修	435,000
(3)推進事業		22,791,000
	ふるさと水と土保全対策懇話会	137,000
	農林漁業体験推進事業	773,000
	鳥獣被害予防推進事業	3,000,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	7,068,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(1,300,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(4,850,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(918,000)
	啓発推進事業	430,000
	とくしま「デジ活」農山漁村づくり推進事業	9,700,000
	農業版BCP現場力強化事業	683,000
世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」保全・継承事業	1,000,000	
合 計		26,561,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)保全ネット ワーク推進 事業		(円) 12,347,000
	棚田地域等保全対策事業	477,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	11,870,000
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(8,000,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(3,870,000)
(2)保全活動 推進事業		16,400,000
	鳥獣被害予防推進事業	3,000,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	2,700,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(1,200,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(1,500,000)
	とくしま「デジ活」農山漁村づくり推進事業	4,700,000
	世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」保全・継承事業	6,000,000
合 計		28,747,000

